

令和2年度 第2回 三木市環境審議会 議事録

【日時】令和2年11月27日（金）14時～16時05分

【場所】水道部 第1会議室

【出席者】

（委員16名）

坂井委員、三村委員、岡島委員、矢野委員、八木委員、岩野委員
階戸委員、横田委員、木村委員、生田委員、武田委員、住友委員
北村委員、佐藤委員、丸山委員、若田委員

（三木市）

合田副市長

（事務局）

安福市民生活部長

西本生活環境課長、荒田係長、増田主任、井上主事、廣岡環境課長、待
井研究員（アセス株式会社）、山内研究員（アセス株式会社）

【欠席委員】西村委員、松野委員

【傍聴者】なし

1 開会 14:00

○司会

それでは、ただいまから令和2年度第2回三木市環境審議会を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、公私とも大変お忙しい中、御出席賜り、心より御礼申し上げます。

本日もどうぞよろしくお願いたします。

なお、本日の会議においては、新型コロナウイルス感染防止策として、適宜会場の換気等を実施いたしますので、御了承願います。

また、本審議会は三木市審議会等の会議の公開に関する条例に基づき、公開といたします。併せて、議事内容につきましても、議事要旨等を情報公開コーナーや市ホームページにおいて公開いたします。あらかじめ御了承ください。

なお、事前に本審会議の開催を事前に告知しておりましたが、本日の傍聴希望者はありませんでした。

また、本日より、吉川町商工会の三村様に新たに委員として御出席をいただいております。

三村様 どうぞよろしくお願ひいたします。

○三村委員

よろしくお願ひします。

○司会

なお、本日の審議会は18名中16名の御出席となっております。

審議会規則第5条第2項の規定により会議が有効に成立しておりますことを御報告いたします

では、まず始めに市を代表いたしまして、合田副市長より御挨拶を申し上げます。

2 あいさつ 14:05

○合田副市長

(市長代理で合田副市長 あいさつ)

○司会

ありがとうございました。

合田副市長につきましては、公務の都合により以上をもちまして退席とさせていただきます。

合田副市長ありがとうございました。

(副市長退席)

○司会

次に、お配りしております資料の確認をいたします。

(資料 確認)

○司会

これ以降の本日の進行につきましては、武田会長にお願いしたいと

思います。どうぞよろしく願いいたします。

○武田会長

(武田会長あいさつ)

本日の審議事項に移りたいと思いますが、審議に入る前に、本日の会の終了時刻であります。午後4時00分には終えたいと思いますので、御協力をよろしく願いします。

続きまして、本日の議事録署名委員の指名をさせていただきます。誠に恐縮ですが、北村委員と若田委員にお願いします。後日、議事録ができた段階で、事務局より持参することになります。御確認いただき署名の方よろしく願いします。

3 審議事項 14:13

○武田会長

それでは議事に移ります。審議事項の(1)環境総合計画の策定スケジュールについて事務局より説明をお願いします。

○事務局

(1) 環境総合計画の策定スケジュールについて説明

○武田会長 14:16

ありがとうございます。今の説明について何か御質問はありませんでしょうか。

(意見なし)

○武田会長 14:17

意見がないようですので、審議事項の(2)市民・事業者アンケートの結果報告について事務局より説明をお願いします。

○事務局

(2) 市民・事業者アンケートの結果報告について説明

○武田会長 14:43

ありがとうございました。ただ今の説明について何か御意見がありましたらよろしくお願いします。

○委員

アンケートのまとめ方の件で、市民アンケートのまとめの4ページの上の部分です。これは本編計画の18ページに反映されています。私が申し上げたいのは、この青色の「非常に興味がある」、それと緑色の「感心がある」を合わせた順番に並べていけば、より市民がどんなことに興味があるかわかるということです。ここでは質問の順に並べているかどうかわかりませんが、青足す緑の順番に並べていけば、1番目は「ごみの不法投棄やポイ捨て」が「興味がある」ということになります。2番目は「地球温暖化の関係」です。3番目は、ここでは上から8番目くらいに位置している「ごみの循環リサイクル」となります。青と緑を足した順番に並べ替えた方が、課題が明らかになり、市民が何を求めているかに繋がると思いますので、課題のところの文言も少し変わるかもしれません。

それから、市民アンケートのまとめの4ページの下の部分で、こちらは環境に関する重要度で、本編の24ページに反映されています。これも「とても重要」だと考えている順に並べておりますが、「やや重要」という項目もありますので、青と緑を足した方が課題が見えてくると思います。

それとアンケートの3ページです。この設問では三木市の環境についてどの程度満足していますかということが聞かれています。これについても、「やや不満」と「とても不満」という順に並べて、市民が不満に思っている順に、赤足す紫の順に並べていけば、市民はこんなところに、不満なり、満足と考えていないということが明らかになるとおもいます。そうすれば本編の30ページの課題も、ちょっと変わってくると思います。

○武田会長

事務局の方いかがですか。

○事務局

この段階では質問順で作りましたが、委員のおっしゃるとおり、他の計画で、そのようにしている計画もありますので、最終的にはそのような形にさせていただきたいと思います。

○委員

今の御意見とほぼ同じですが、今回のアンケートは回答を1から5まで分けていますが、問2、問3も一番左の青と緑は最終的には同じことですよね。回答を整理するとき是一緒にしないと、大変見づらいですよね。5段階評価の3番については、そのままおいといて、悪い方は悪い方で整理した方が、非常に見やすいという気がします。それからですね、先ほど市民アンケートの自由意見の話が出なかったんですが、回答が非常に多く、環境に関わることや都市計画に関わること、他にも交通に関わることなどもありました。今回の環境審議会では環境に関する事は議論しますが、交通や都市計画の事は議論することはないと思うので、その辺は分けて見せていただいた方が、こちらも見やすいかなと思います。個人的な意見もたくさんあるので、それは別枠で検討しないといけないと思います。

○武田会長

恐らく、感じたことを全部書いていると思うので、その辺の仕分けは必要かと思います。

他にありませんか。なければ僕から一つお聞きします。

2ページ目の世代構成で、夫婦のみがありますが、この夫婦のみというのは、高齢で二人なのか、若い人が二人なのかなどの割合はわかりますか。

○事務局

両方のパターンが含まれています。

○武田会長

高齢者と若い人で意見が違うので、その辺をまた整理お願いします。それと事業者アンケートですが、環境の取り組みが進んでいる事業所

は会社の規模が大きいところが多いのか、小さいところが進んでいるのかわかりますか。大きい事業所も小さい事業所も一緒に分析していると思うのですが、もし小さい事業所が取り組めてないということがわかるのであれば、そこへ働きかけが必要だと思います。大きい事業所は社会的に環境に関する取り組みを実施しないといけないと思います。むしろ小さい事業所の方が環境に関する取り組みができてないところが多いと思うのですが、それが分かれば足りていないところに重点的に働きかけられると思うのですが、そこはどうですかね。もし可能であれば示していただきたいと思います。

○事務局

事業所の分類は従業員の数でしか分けられないと思いますが、今は分類できておらず、お示しできません。今回の分類でいけば、小さい事業所は9人以下ですかね。従業員の数が少ない事業所ではこういう結果でしたと。マクロ的に分析してお示しできればということですね。

それと御夫婦の関係については、年代はわかるのですが、もともとお子様がいないのか、あるいは子どもさんが独立してという設問はなかったもので、その辺りはクロス集計で分析することは困難かと思われま

○武田会長

他にはありませんか。

○委員

細かい話ですけど、問1ね。性別のところのリード文で、最も多くなっているとありますが、「男」か「女」か「どちらでもない」の3つしかないのに、最も多くなっているでは日本語としておかしいと思います。ここは2番目に書いてあるように、女性が50.7%で最も多く、次いで男性、無回答と書いておかないと、最も多くの意味があるかどうかかわからないし、書きぶりを考えないといけない。最初に見る部分ですので、ちょっと恥ずかしいかなと思います。

○武田会長

最近では男性、女性っていう区別もどうかと思います。その辺も考えて表現してほしいと思います。

○事務局

表現を変えさせていただきます。

それと、先ほどの話に戻りますが、事業所の規模については一定の従業員の数で示しても大丈夫ですか。

○委員

先ほど会長が言われたことは会社の規模だけでなく、分析能力をどれだけもつかということだと思います。分析能力とは何かというと、例えば、この回答に対して、男性が興味を持っているのか、女性の方が興味を持っているのか。それから、この設問については高齢者が興味をもっているのかどうなのか。あるいは、高齢者と若者はどんな違った意見を持っているのかなど、「せっかくビックデータがあるなら、ちゃんと分析できるようになるよ」ということなんだと思います。なので、規模に応じて具体的に出不いのであれば別に出さなくていいと思いますが、どんどんと属性別の様々な切り口で属性別にどんな回答が出てきているのかを分析できればよいと思います。エクセルだけで分析をしていると大変だと思いますが、もう少し踏み込んで分析していただきたいという気持ちです。

○武田会長

具体的に事業を進めるときにそういうデータは参考になると思いますので、今回の環境総合計画でそこまで必要かわからないですが、そういう分析もよろしくお願いします。

○事務局

今回は、結果をそのまま載せておりますが、可能な範囲でクロス集計も行いたいと思います。

○武田会長 14:58

他にありませんか。

ないようですので、審議事項の(3)第3次三木市環境総合計画(素案)について事務局から説明をお願いします。

○事務局

(3) 第3次三木市環境総合計画(素案)の
1章から5章について説明

○武田会長 15:31

ただ今、説明いただきましたが、残り30分では議論できないかもしれませんので、その場合は意見を12月14日までに事務局に出してほしいと思います。時間内で可能な限り議論したと思いますので、よろしく願います。今の説明に何か意見はございませんか。

○委員

12ページから15ページで、グラフの下に何年という年号を見ていただくとわかるのですが、全くバラバラなんですね。2014年から1年おきだったり、2005年から5年おきだったり、まとめられない資料もあると思いますが、統一しないと、自分たちの都合の良いところだけ載せていると見えてしまうことが出てくると思います。できるだけ、まとめてください。

それと、年間降水量をみると、1年に1回しか測定していません。これを5年間とったところで、なんのトレンドも見つからないと思います。ですから、5年間の平均降水量を入れるなどして、トレンドがわかりやすいようにまとめた方がいいと思います。統計がわかる人でも「なるほどな」とわかるような形にしていきたいのが1点。

それから21ページを見ていただきたいのですが、市民が取り組んでみたい活動の中で、自然共生、自然観察会の活動の書きぶりが、まずは市民が興味がないということを言って、それを盛り上げていかなければならないという論調なのですが、これはほぼ不可能なことを書いてるだけの論調になってしまうと思います。みなさん興味ないですよ。だから変えていこうと言ってもまず無理やと思います。じゃあ興味がない中でどんな年齢層だったり、どんな属性の方が興味を持っていることを調べた上で、じゃあこういう人たちに働きかけていきましょうということであれば、これは意味のある文章になると思います。ですからアンケートの結果のまとめかたを工夫して、みなさんが納得できるようなアンケート結果にしていきたいと思います。

○武田会長

統計資料については、年度毎のものもあるのですか、できれば最新のやつまで入れるといいと思います。

関心の低い項目をどうするかなのですが、関心は低いですが、環境にとっては重要なことですので、検討をお願いしたいと思います。

○委員

自然観察会などの活動でくくっているのですが、これは非常に広い年齢層でアンケートをとっていると思います。主婦の方が自然観察会に興味があるかという、まあ少ないと思います。これが例えば小学生、中学生対象であれば意味があると思うのです。ですから一概にこういう書き方にしましては良くないという問題があります。検討してください。

それと空き家対策のところがあると思いますが、ここでは割合は出ているのですが、なぜ空き家になっているかということが我々には見えないんですね。誰も相続する方がいないのか、あるいは、よそに転居していて、そこは空き家になっているのか。そういうことによって考え方が変わってくると思います。そこらは難しいと思いますが、どういう形での空き家になっているかということを考えれば、改善策がでてくると思います。例えば、空き家を売りたいというところがあれば、「市のホームページで詳しい方法がわかるよ」と誘導していくなどの方法もあると思います。

○事務局

統計につきましては、もう少し精査していきたいと思います。

空き家につきましては、空き家対策計画がありますので、計画策定時に使用したデータなども活用していきたいと思います。

○事務局

統計につきましては、農業センサスなどは5年に1回しかありませんので、現在ある最新のもので対応させていただきたいと思います。

○委員

データの無いものは結構です。

○事務局

5年に1回しかない統計のデータなどは、データの注釈にそのことを明記したいと思います。委員がおっしゃるように毎年のデータや、5年に1回のデータなどが混在すると、都合のいいところだけを出しているのかなと誤解を招く可能性がありますので、言葉足らずの部分については補いたいと思います。

○委員

ポイ捨てのことについてです。市民アンケートの自由欄を見れば、ポイ捨てという言葉が頻繁に出てきます。私が数えただけでも市民アンケートだけで、15件出てきます。これについて、市民の意識を基に環境総合計画を作るのであれば、ポイ捨てに関する施策をもう少し広く書けばいいと思います。自由意見も1番目からみれば、ポイ捨てが多いとか、いろいろと出てきます。ですから、本編53ページにポイ捨ての対策を実施しますとありますが、もう少し強くしたほうがいいと思います。また、アンケートの結果の方もポイ捨ての関心が高いと出ています。ですから、ポイ捨てのことについては、この10年間の環境総合計画の目玉となるようにもう少し強く書けば、市民の意見が反映されたことになると思います。例えば、「ポイ捨ての防止に関する条例」を「ポイ捨て等の禁止に関する条例」に変えるなど、あるいは、市内に入ってくる幹線道路には、「ポイ捨てのないまち三木」や、「三木はポイ捨てゼロのまち宣言」などの看板を設置するなど、インパクトのある施策が必要だと思います。この素案のポイ捨てに関する内容はどれもあたりまえのことで、日々の施策で進めていくことです。今回の環境総合計画のポイントは、自由意見とアンケートの結果から見ると、ポイ捨てが今回の目玉くらいの勢いで書くといいと思います。

市民アンケートの自由欄の中には三木市の環境は何をやっているのかわからないという意見が13件あります。生活環境課は平素から大変頑張っておられるのですが、日々のままじゃないかということがこのあたりに書いてあるのだと思います。予算をかけずに宣言する。条例の名前を変える。トライやるウィークをやるより、月に1回はみんなが地域のごみを拾えば、大人から見れば、子どもの手前、ちゃんとしようという思いも出てくると思います。いろいろとお金をかけない施策があると思うので、その辺りをポイントとして入れていただきたいと思います。残念ながら、三木の環境施策は何をやっているのかわからないという意見が13件と、大変厳しい意見が出ております。また、

強くインパクトのあるポイ捨てへの関心が市民のアンケートの結果で出ておりますので、素案のポイ捨て対策の実施の53ページだけでなく、地域力にも入れ込むなど、少しメリハリがつくようにすればいいと思いました。

それから生物多様性の観点ですが、ここには希少生物と書いていますが、身近な生物や在来種を大事にするということ、それからビオトープはふれあう場所ではなく、自然を理解する場所ということを書いてほしいと思います。それから、鹿が出てますが、アライグマとかの方がリアリティがあると思います。アライグマの被害はよく聞きますが、鹿の被害などは三木市ではあまり聞きません。本編の方でもアライグマの被害が一番多かったと思います。

それから、細かいですが、20ページの自然に関して言えば、自然とのふれあいはホースランドパークもありますし、三木市と地域が作っている増田ふるさと公園もあります。そして45ページの写真は企業のビオトープの中にある吉川里山公園となっておりますが、ここに関しては、増田ふるさと公園で学校の子どもたちが活動をしているので、増田ふるさと公園の写真にした方が、より良いと思います。

○武田会長

環境総合計画は大まかな計画、基本方針のようなもので、実際にやろうとすると全ての項目についてもっと細かい施策を挙げる必要があります。環境総合計画でどこまで書き込むかということが問題なのですが、生物多様性の保全についても、何をやっていいのかわからないことが沢山あります。ポイ捨てについても、ポイ捨て条例がありますので、条例に基づき実施できると思うのですが、細かいことをやろうと思うとそれを明示していかないと結局何をやっていいのかわからない。環境総合計画を作っても、実行していかないと意味がないので、その辺りのことを今後どうやっていくか、それぞれの項目について細かい検討が必要になってくると思います。

○委員

環境基本条例の第9条では、環境創造計画に基づき必要な指針を示さなければいけないという項目があるので、よろしくお願いします。

○武田会長

環境総合計画を作って、それを実行していかなければならないわけですが、本計画は色々と挙げていますが、生活環境課だけではできません。この項目をどこの部署がやるのか明記する必要がある、その部署がどれだけできたか明示する必要があります。SDGsも17の項目があって、169の目標があり、その下に数値目標を入れることになっています。そういうものがないと評価ができません。評価するためには、数値化できるものは数値化してほしい。それを環境総合計画の中で書き込めるかどうかが重要で、それを書き込んだ上で具体的な施策が必要だと思っています。

○委員

いろいろやろうとすると費用が絡んできますが、極力費用をかけないで、地域力をうまく活用したり、子どもたちの力を活用すれば、ごみの問題はかなりできるはずです。子どもたちが地域の清掃活動をやっているれば、大人たちはポイ捨てをしにくくなるので、ポイ捨ての抑制になるのではないのでしょうか。

道路のポイ捨て、側溝でたまったゴミが流されて、ため池や川に流れ込むなど問題、里山の整備にも言えると思いますが、地域の力を活用していけば良いと思います。

○武田会長

最初の副市長の話にもありましたが、地域の環境は地域で守っていかなければならないと思います。地域の人の協力が必要です。アドプト団体、いわゆる地域を綺麗にしていこうという団体の募集が書いてありますが、具体的にどうするかの施策が書いていないので、細かい施策を書き添えていただければ良いと思います。

○事務局

基本計画に対して実施計画というものがありますが、それとは別に各事業の項目を挙げていき、検証可能な形で評価をいただくのは大事だと思います。今後、庁内で推進体制をとり、どの課がどのような施策を打っていくか、できていないのは、なぜできていないのかなど理由を示していくべきであると考えています。

○武田会長

チェック体制は5年ごとになっていたと思いますが、5年経ってできていませんでしたでは具合が悪いので、細かいところは毎年庁内でチェックしてほしいと思います。

○事務局

年1回は環境審議会を開催し進捗状況を報告いたします。その中で課題があれば課題の解決に向けて御助言をいただきたいと思います。

中間の目標に関しては、5年後に社会的な情勢が変わった場合は、目標を修正しなければならないと市は考えております。

○武田会長

環境省が使用しているので、そのまま使っているのかもしれませんが、本文には横文字が多いので解説を入れていただきたいと思います。環境に関心のない市民にはわからない言葉が多いと思います。

○委員

61ページのPDCAについて、三木市の環境基本条例10条で年次報告という項目があると思います。進捗状況を知りたいので、きちんと出していただきたい。

この環境総合計画は良く書けているのですが、どこの市町村や県などに書かせても同じようなことを書くでしょう。この環境総合計画には三木の特色が何もないと思います。飛躍した話かもしれませんが、例えば、三木には志染川、美濃川があります。この川を蛍が舞う川や鮎が泳ぐ川とするなどがあります。今は水質汚濁に関しては環境基準のBODだけで環境評価されていますが、そのように踏み込んだ形で評価していけば、三木市は非常にきれいな川をもっていることになります。伽耶院とかも蛍がいますが、水が綺麗だからです。そういうところに力を入れてやっていけば人口が増えていくのではないのでしょうか。

テレビを見ていて思ったんですが、最近リモートワークの人が増えてきて仕事を河川敷でする方もいるみたいです。三木は農業の人も多いと思いますが、実際、神戸や大阪に通っている人も多くいるので、河川敷に公共でWi-Fiを飛ばしたりしてみたらおもしろいのではないのでしょうか。そうすれば河川敷に人が集まって、三木市は神戸のベッ

ドタウンではなく、人が集まる市になるのではないのでしょうか。三木は交通が不便なところだと思います。でも人が神戸や大阪に行かなくてもよくなれば、神戸電鉄やバスも混まないし、公共機関の利便性を追求する必要がなくなっていくのではないのでしょうか。これからますますリモートの仕事環境になってくるかもしれません。三木市の広い住宅地に家を建てて、きれいな環境の河川敷に足を運ぶようなまちにしていけば、人口も増えていくのではないのでしょうか。

○武田会長 16:02

私も環境総合計画を見て同じようなことを感じました。それも一つ考えていただければと思います。

他に要件を言いたいという人がいなければ会を終了したいと思いますが、いかがですか。

ないようですので、後で何か言いたいことがあれば12月14日までに事務局に伝えてほしいと思います。できるだけ良い計画を立てて、実行できるようなものにできれば良いと思っています。

4 事務連絡 16:03

○事務局

意見の御提出方法について、特に様式等はございません。メールやFAX、電話など、どのような形でもよいので、事務局に伝えていただいてもよろしいでしょうか。

(異議なしの声)

○事務局

本日お配りした素案(案)にざっと書き込んでもらっても構いません。皆様のいろいろな意見をいただきたいので、よろしく願います。

○司会

皆様ありがとうございました。本日いただいた意見については十分に精査させていただきます。

また、他に御意見がある場合は、12月14日を期限で御意見をいただければと思います。

では、矢野副会長に閉会の挨拶を賜ります。

5 閉会 16:05

○矢野副会長

(矢野副会長 閉会のあいさつ)

この会議の経緯並びに結果を明らかにするために、以上のとおり議事録を作成し、署名委員が署名する。

令和2年11月27日

署名委員 北村 健

署名委員 若田 芳枝